

IMAGINE ROTARY



第2780地区
大磯ロータリークラブ



イマジン ローター

2022～2023年度RI会長
ジェニファー E. ジョーンズ

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県平塚市豊原町22-13 TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：第1・第3・第5 木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281
会長 瀬戸 亨一 会長エレクト 布川 史明 幹事 鈴木 美乃

第2546回 例会

令和4年9月1日 No.5

■司会：桜川 誠

■点鐘：瀬戸 亨一

■合唱：君が代・奉仕の理想

◇プログラム・9月8日：休会 ・9月15日：ゲストスピーカー・理事会 ・9月22日：休会

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メイクアップ	修正出席率
2546回	15(14)	10	71.43%	—	—
2544回	15(13)	11	84.62%	—	—

◇欠席者（5名）

太田、原、石山、瀬戸、よしのさん

◇メイクアップ（0名）



ロータリーソング：君が代、奉仕の理想。

◇ゲスト：ファジャル君(米山記念奨学生)
米山奨学金贈呈：



四つのテスト
唱和

大磯クラブの皆様こんにちは、今月の奨学金は大学の学費に使わせて貰います。米山奨学会、大磯ロータリークラブの皆様、毎月ご支援頂き有り難うございます。

◇出席報告

吉川稔委員



の仕方は常に考えておかねばと、今日防災の日に当たって考えました。皆さんも色々な意味で反省ないし新しくこう言う考え方が良いよと言うような心づもりをして頂ければ幸いかなと思います。

例会終了後この場所で臨時理事会を開きますので、理事はお残り下さい。

◇幹事報告

新宅文雄副幹事



(鈴木美乃幹事所用により欠席の代行)

ここに来る前に鈴木美乃幹事から本日所用があり、欠席しますので宜しくお願ひします。皆さんにも宜しくお伝え下さいとの電話がありましたのでお伝えします。

回 覧：

1. 第20回記念ロータリー全国囲碁大会：

11月5日(土)、東京・市ヶ谷の日本棋院

2. 地区会員増強委員会からのお知らせ：

会員増強手法の紹介パンフレット＝11ページ、スライド20枚＝9月15日の例会の時に地区会員増強委員会の副委員長と担当者の二人が当クラブに見えます。一人は大変迫力のある人で、型破りのお話しをされる方で、地区から会員増強で表彰されていらっしゃる上田さんです。是非皆さん出席してどうやって会員増強しているのかよく聞いて頂きたいなと思います。

3. 米山学友会主催 地区環境プロジェクト

「クリーンキャンペーン」開催：9月25日(日)9:00～13:00集合場所は庄治郎丸(船宿)＝乗船して海側から湘南地域を眺める 体験と海岸美化の推進。参加者はクラブ会長・幹事、米山奨学生、世話クラブカウンセラー、米山担当者。各クラブ2名まで。

配 布 物：

- ・会報第2545回
- ・ガバナー月信2021/22年度最終号
- ・ロータリーの友9月号
- ・チャレンジフェスタ・パンフレット

◇会長報告

守屋紀忠直前会長



(瀬戸会長体調不良のため欠席の代行)

旧盆の8月15日が過ぎてから、大磯町のコロナ発症人数が三桁から二桁台に下がってきましたが、未だ一桁にはなっていません。この中にはロータリアンも何人か入っています。これから涼しくなっていく段階で、もう少し下がっていくのかなという感じがするわけですが、いずれにしろ集団の中に出て行けば出て行く程、罹る確率が高くなる。

大磯チャレンジフェスタというのが10月2日にあるのですが、皆さんにお手伝い願ってやる中で、時間も一昨年に比べると少なくなっている。大体午後2時か3時頃までやっていたんですが、コロナの関係で午前中で終わる事になっています。主催者側も色々苦労している現状ではないかと思います。

今日は9月1日、防災の日、関東大震災という私達の知らない大地震があったその記念日になっています。防災も心して掛からないと、忘れた時分にやってくる。色々な災害が多いんですが、特に地震では根こそぎやられますから。気を付けてといっても気を付け切れないものですが、逃げるなどの対処

◇委員会報告：

☆スマイルボックス

布川史明委員



- ・守屋紀忠さん：田中さん卓話よろしくお願ひします。ファジャルさん ようこそ。
- ・新宅文雄さん：田中さん卓話よろしくお願ひします。
- ・河本親秀さん：田中さん卓話楽しみです！！
ファジャル君ようこそ
- ・井上浩吉さん：ファジャルさん ようこそ。田中さん卓話楽しみにしております。
- ・田中敏治さん：ファジャルさん ようこそ、本日、宜しくお願ひします。
- ・布川史明さん：田中さん卓話楽しみにしております。よろしくお願ひします。ファジャルさん ようこそ！どうぞ楽しんで下さい。

◇卓話

脱炭素社会を目指して

田中 敏治さん



(編者注：久しぶりの卓話の機会なので、新しい会員の吉川さんとゲストのファジャル君の参考にと自己紹介から始められました。以下要点を記録しま

した)

家族は妻と子供一人の3人家族。会社名は(有)田中秀雄商店。仕事内容は金属スクラップを仕入れ、加工して製鋼所他に販売。国府中学校の裏手に所在。

鉄材の再生、リサイクルの業界：

金属(主として鉄材)スクラップとは船を建造したり、窓枠とかホテル建設などに使う鉄骨や鉄板などを加工して行く時に出る端材等を各工場=近辺では日産車体の協力工場など=から出てくる金属スクラップ。造船場から出る鉄材のスクラップ、ワイヤーなど。又ホテルや工場を解体する解体業者やゼネコンから、橋や道路補修の時に出る架設材、床に入っていた骨材など=を集荷して加工します。加工とは切断と圧縮と溶断切断。主として切断が多い。これは機械に入れて或る寸法で加工します。何故加工するか？これは鉄を資源として購入先であるメーカーが又使えるように規格に合わせて納めて、それが商品になります。又それが溶かされて、鉄筋とかH型钢とか鉄板に再生されて行くという業界です。

今仕入れ先として解体屋さんが多くなってきています。それは耐震性の問題、用地の再利用、余剰の生産能力の集約などが急速に進んでいる為で、現在仕入れ先の半分くらい占めています。コロナ禍発生の前(4年前)に解体屋さんの集まりの会議で聞いたんですが、この10年が解体のピークになると言う事でした。

参考資料1. CO₂半減の製鉄原料：

関東に在るJFEスチール社が今まで高炉法で生産していた鉄鋼量は月産70万トン=京浜工場のみで、他に千葉や福山などにあるので膨大な量になる=。高炉で1トンの鉄鋼を作るのに2トンのCO₂を出す。これが電気炉法では0.5トンと4分の1になるので、菅政権が2025年カーボンニュートラルを打ち出してから、急速に高炉法から電気炉法に切り替えが促進され。JFE京浜工場では高炉法から電炉法=年産250万トン=に切り替えが始まった。電気炉で回収スクラップ鉄を再生する場合は天然ガスを還元剤に使用するため、CO₂は1~1.5トンになる。

参考資料2. 水素受入港複数整備：

カーボンニュートラルで急速に進む製鉄所や造船その跡地をどう活用するかが課題になっている。天然ガスに代えてCO₂を出さない水素の利用促進のための液化水素運搬船の大型化、大型船舶の受入港

の整備、陸上タンクの置き場などの整備が必要となっていて、鉄鋼会社や設備集約のために空いた工場、コンビナートなどの活用出来る。＝政府は沿岸部の用地をとの指針を出しているが…、アンモニアや天然液化ガスの貯蔵をしている製鉄所・造船所・コンビナート跡地の活用はどうなるのか？＝

今後カーボンニュートラルで進んで行く上で**アンモニア、LNG、水素、波力、風力、太陽光等による発電だけでは基幹電力としては成り立たないのでは？**3.11大震災での原発の問題があって、簡単には理解が得られないでしょうが、もっとコンパクトにして各沿岸部で人間がコントロール出来ない原子力発電であっても、して行かざるを得ないのかなと思っています。**絶対量の電力が確保されない**と**工業も産業も成り立たない**ですし、我々の生活も多分成り立って行かない。専門的なことは分からないんですが、非常に興味を持っています。今後どんな形で関係して行けるのかなと考えているところです。

仕事の面でも、大磯RCとしても環境問題として、地域のゴミを減らすとかのことではなくて、**社会環境がどんどん変わりつつあるので、こういった問題について、関係者や子供達が学び、スペシャリストとしてやって行けるような環境を作ることが出来たら**なと思っています。

大きく**2050年カーボンニュートラルでCO2発生ゼロの30年間の計画を立てる**。各産業や資源エネルギー庁の人達等がずっと模索してきていたと思うのですが、公約されたことで、がらりと舵が切られて今後10年くらいで変わって行くのではないか？というのが一つ。その上で私が携わっているスクラップ以外の、CO2を出して、どんどんコストを下げていた**高炉が電気炉にシフトして行く**という業界の中でも再編が起きるでしょうし、CO2の削減については凄く貢献して行くのではないかと。

それからその跡地は今後どんな形で水素の基地にするのか？色々模索されていますが、メーカーの役員と話す機会があった時に、「水素は良い々々と言われている。トヨタが実際に水素燃料自動車開発に努力している。水素は管理が大変で、広大な基地に水素タンクを大量に設置した時に、万が一それが爆発した時、例えば川崎で起こったら関東の人達が一斉に窒息してしまうという事は国は言わないんだよね！」と。国はそんな事は言えないんでしょうけど。我々はそういう事を認識しながら考えて、これから**2050年までに環境が大きく変わってくる**と思う事と、それを小学生、中学生が研究したり、勉強したりす

ることが出来る環境をロータリークラブが創ることが出来ればと思っています。

私の友人が日本で初めてのLNG燃料船の建造に携わった時に色々聞いて、これからはLNG燃料船が増えて、重油を焚いて走る船は解体されることになって、それが我々解体業者に回ってきて商売に繋がるのかな？と冗談言っていたんです。今まで日本では船は20年過ぎると保険に入れない、国内で20年経った船は海外で高値で売れていました。国籍を変えて40年50年走っている船が沢山いる。これもCO2の縛りが適用されるようになって解体されてゆく事になります。この友人が今は風力発電に携わっているので、一度卓話に呼びたいと考えています。



質 疑

質問：H鋼と鉄筋と鉄の純度にはどれだけ差が在るのか？

答：結論的には殆ど差はない。鉄の純度は高い程柔軟性がある(衝撃で切れ難い＝伸びる)

鉄は錆易い＝ステンレス合金はニッケルとクロムとの合金。亜鉛メッキの鉄は錆難い。

高炉で造った鉄の純度は非常に高いが、屑鉄を溶かして電炉で造る鉄は不純物が入る場合がある。しかし今は**製鋼品質は鉄分98%以上と決められているので、コンピューターで純度管理**をしており、鉄鉱石を製錬して造られる**高炉鉄も、電炉で屑鉄から再製される鉄鋼も鉄の純度は殆ど同じ**なので、どちらの製法で造られた鉄もH鋼、鉄筋に使えるようになり、双方の鉄分の純度には差がないと考えられる。

以 上